sanwa company

システムキッチン

●クビレキッチン

取付･設置説明書　12-00676S-01

取付・設置をされる方へのお願い

■取付･設置前に、この「取付・設置説明書」をよくお読みの上、正しく設置してください。
■設置完了後に試運転及び各部の点検を行い、異常のないことを確認してください。
■本体や機器に同梱されている取扱説明書等はお客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れの無いように保管し、取付・設置完了後、お客様に渡してください。

1 安全上のご注意

■ここに示した注意事項は守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。
■設置完了後に試運転及び各部の点検を行い、異常のないことを確認してください。
■表示内容を無視して誤った取付･設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表で区分し、説明しています。

⚠注意　　⃠禁止　　❗実行

以上の記号の記述を必ずお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠警告　取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危険の程度。

- ❗ウォールユニットの設置は、建築壁の構造を確かめて取付・設置説明書どおりに正しく行ってください。(落下してケガをする恐れがあります)
- ❗電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。(火災、感電、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります)
- ❗組込まれる電気機器･水栓などについては、それぞれの取付･設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。(思わぬ事故や故障の原因になることがあります)
- ❗レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との距離を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください（詳しくは、所轄の消防署へ確認ください）(火災の原因になることがあります)

⚠注意　取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。

- ❗棚板を設置する時は、棚受けをすきまのないよう根元まで確実に差し込んでください。(棚板がはずれ収納物が落下してけがをする恐れがあります)
- ❗防臭キャップ・排水器具・排水ホースの取付け及び給排水管の接続部分のシールは確実に行ってください。(水が漏れたり、湿気が上がり床などが腐る恐れがあります
- ⃠排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けないでください。(排水能力が低下してシンクから水があふれ、床を汚すおそれがあります)
- ❗取付・設置完了後は、扉のがたつきや丁番のゆるみのないことを必ず確認してください。(使用中に扉が落下して、けがをする恐れがあります)
- ❗取付・設置に使われる溶剤・その他薬品類は、それぞれの注意表示にしたがって、正しく使ってください。(誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因となります)
- ⃠絶対に分解したり、修理・改造したりしないでください。(落下して、けがの原因となります)

2 施工前の確認

1．荷物の受取り
車上渡しとなります。また重量がある製品や荷姿の大きな製品がありますので受取りの準備をお願い致します。
(製品の品質確保のため、搬入・搬出は必ず手運びで行ってください)

2．部材の確認
荷受した商品はご発注控え又は納品一覧表を基に、品番・数量を確認してください。

3．施工現場の確認
設備図面通りに、一次工事ができているか以下の項目について、確認してください。
・設置場所の間口寸法、床の水平、壁の垂直、コーナー部の直角度
（水平・垂直・角度等の精度が出ていないと、仕上げが悪くなり、使用時の安全性にも影響します。）
・窓枠や建具の位置と寸法
・取付木の位置及び寸法（厚さ45㎜以上、幅100㎜以上の強度のある硬い木材）
・必要な給湯水管、排水管、ガス配管、電気配線の位置と接続方法
・ガス種、電圧（100V・200V）、周波数
・レンジフード用の開口の位置及び寸法
・火災予防条例に準拠したレンジフード、コンロの設置場所と可燃物の離隔寸法
製品の搬入経路の確認を行ってください。

❗ ● ウォールユニットを取り付ける取付木（厚さ45mm以上、幅100㎜以上）が指定通りに使用されていることを確認してから取り付けてください。(取付木に充分なネジ保持力がないと、使用中にキャビネットが落下しケガをする恐れがあります)

3 設置手順　3-1

■ウォールユニット･レンジフードの取付け

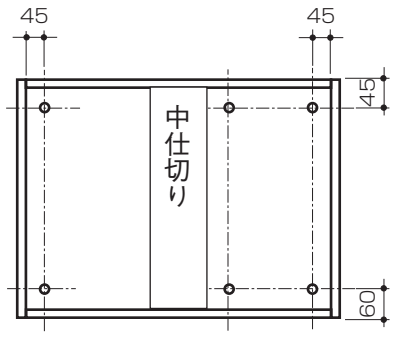
1．取付用墨出し
仕上り床面を基準に、ウォールユニットの下端（または上端）の位置に墨出しします。

2．ウォールユニットの壁固定用下穴加工
ウォールユニットの背板に壁固定用ねじの下穴（φ６）をあけてください。
(下図をご参照ください)

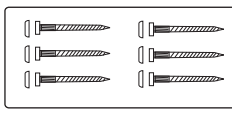
3．ウォールユニットの取付け
ウォールユニットを取付用の墨に合わせて付属の取付ねじで壁面へ固定してください。

4．レンジフードの取付け
レンジフードに付属の取付・設置説明書に基づき取付けてください。

【壁面固定用下穴位置】
背板正面



吊戸棚取付用付属品

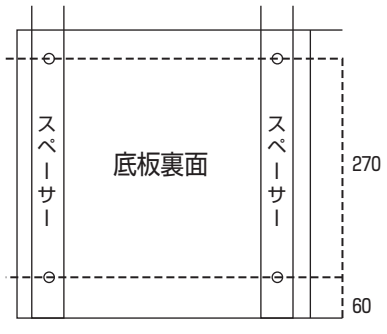
	皿木ねじ 4.8×65 キャップ	 6個 6個

3 設置手順　3-2

■ベースユニットの取付け

1．床固定用スペーサー取付けおよび下穴加工（アイランドタイプ、ペニンシュラタイプ）
図１に基づきベースユニットの底面に床固定用スペーサー（シンクユニットに同梱t2.5合板）を両面テープ等で取り付け、下穴をあける。
※両面テープ等は現地手配となります。

図１



2．各ユニットの連結、壁固定用下穴加工
図2、3に基づき中央のユニットの両側板およびシンクユニットの背板に連結、壁固定用下穴（φ6）をあける。

図2

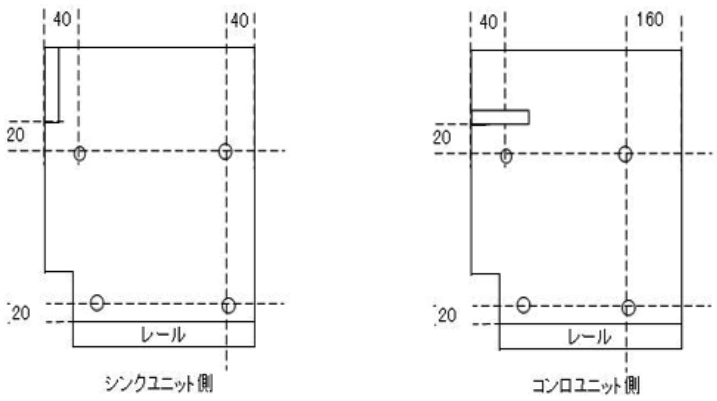
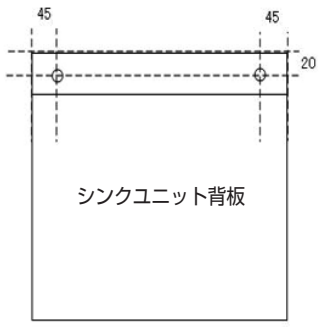


図3



3．配管・配線の取り出し穴加工
ベースユニットに必要に応じた配管・配線の取出し穴をあけてください

4．各ユニットの横連結
各ユニットの前面、上面を合わせ、中央ユニットの両側板にあけた連結用下穴から付属のネジ（L28）で連結してください。
アイランドタイプ、ペニンシュラタイプの対面ユニットも同じ要領で連結してください。

5．対面ユニットとの連結（アイランドタイプ、ペニンシュラタイプ）
連結したベースユニットと対面ユニットを連結します。
シンクユニットにあけた背面連結用下穴から付属のビス（L28）で連結してください。
コンロユニットは側板に取り付けてあるL金物から付属のビス（L13）で連結してください。

6．サイドパネルの取り付け
図4に基づき両サイドパネルの位置を決め、付属のビス（L28）で固定してください。

図4

7．後ろ壁への固定（壁付タイプ）
ベースユニットの設置位置、水平レベルを確認してください。
2、であけた壁固定用下穴から、付属の取り付けネジ（L65）でシンクユニットを壁面へ固定してください。
コンロユニットは側板に取り付けてあるL金物から付属のビス（L28）で壁面へ固定してください。
（配線・配管への干渉が無いことを確認してから固定してください）

8．床への固定（アイランドタイプ、ペニンシュラタイプ）
ベースユニットの設置位置、水平レベルを確認してください。
底面にあけた床固定用下穴から床へビスで固定してください。
床仕上げ、床下地に適したネジを使用してください。（現地手配）
（配線・配管への干渉が無いことを確認してから固定してください）

ベースユニット・ワークトップ取付用付属品

●皿木ネジ 4×28 22本
●皿木ネジ 4.8×65 11本
●ナベ目ネジ 3.2×13 17本
●キャップ 33個
本数は、シンクユニット、コンロユニットに入付けているビスセットの合算です。

対面ユニット・ワークトップ取付用付属品

●皿木ネジ 4×28 24本
●キャップ 24個
本数は、対面ユニットに入付けているビスセットの合算です。

● フロアユニットは、必ず壁面にねじで固定してください。アイランドタイプ、ペニンシュラタイプの場合は床面へねじで固定してください。
※床固定のの場合は床面に設置されている配線や配管その他設備に固定ビスが干渉しないことを事前に確認してください。
● 取付け時には引出しや扉を取り外して作業を行ってください。また引出しや扉に汚れや傷が付かないように養生をして保管してください。
● 引出しを持つ場合は必ず引出しの側板部分を持ってください。（左右のパイプ部分を持つと外れて引出し本体が落下し、ケガをするおそれがあります）

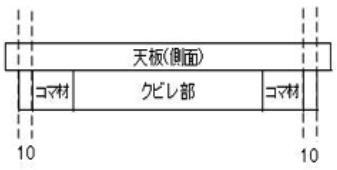
3 設置手順 3-3

■ワークトップの取付け

1．コマ材のワークトップへの取り付け（壁面と接する側のみ）
図5に基づきワークトップに同梱のコマ材を接着剤（現地手配）にて固定してください。

2．ワークトップの取り付け
ワークトップを仮置きする。
ワークトップとベースユニットの左右両側のチリが均等になるように調整してください。
調整完了後ベースユニットとワークトップを付属の取り付けネジ（L13）で固定してください。
対面ユニットとワークトップを付属の取り付けネジ（L28）で固定してください。

図5



● ワークトップを持ち運ぶ時は必ず立てて持ち運んでください。
（ワークトップは奥行方向を平らにして両端を持つと変形の原因となります）
ガラスパーテーション取付の場合は、取付穴は現場加工でお願いします。
（ガラスパーテーションに付属の説明書を確認ください）

3 設置手順 3-4

■水栓金具・排水器具・機器類の取付け

別紙をご参照下さい。

4 施工後の調整・確認

■施工後の調整

1．扉・引出しの調整
施工完了後は、扉のガタツキ、緩み、傾きがないことを確認してください。
調整が必要な場合は取扱説明書の丁番・レール・他金物の調整方法の要領で調整をしてください。

■施工後の確認

1．施工後のクリーニング
ユニットや扉のホコリ・汚れは柔らかい布で拭き取ってください。

2．水廻りの取付状況の再確認
水栓金具、排水金具が確実に取付されていることを確認してください。

3．機器類の試運転
機器類は付属の取扱説明書に従って、施工後の点検『試運転』を行ってください。